

九州兼喜

2016.9

No. 127

平成28年度

「全国労働衛生週間」 にあたって

清水建設株式会社 九州支店 安全環境部 部長 森本 進吾

全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高めるとともに、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的に昭和25年から毎年実施され、今年で67回目になります。

今年も、10月1日から10月7日までを本週間、9月1日から30日までを準備月間として、『健康職場つくる まもるは みんなが主役』のスローガンのもとに実施されます。

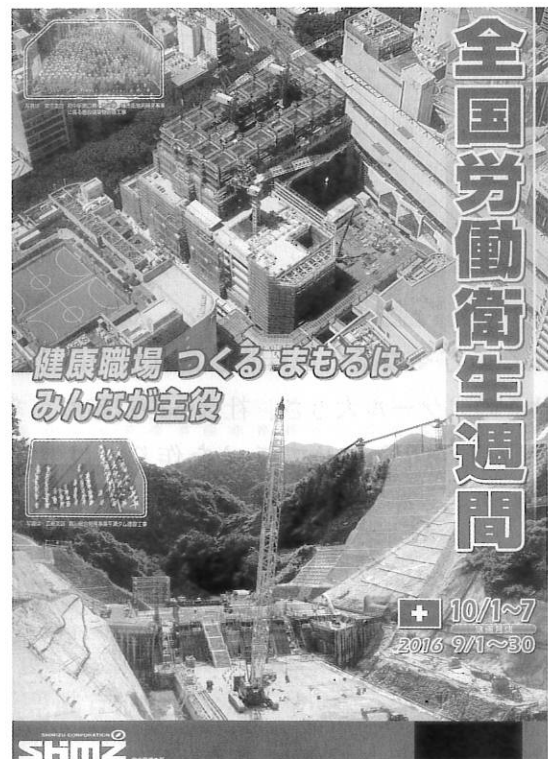
労働者の健康を巡る問題を見ると、平成27年度の脳・心臓疾患の労災支給決定件数が251人、精神障害の労災支給決定件数が472人となっていること勤務問題を原因・動機の一つとしている自殺者が約2200人いること、近年我が国において過労死や過重労働による健康障害防止対策は重要な課題となっています。また、業務上疾病の被災者は長期的には減少し、平成27年は前年から47人減少して7368人となっています。一方、熱中症については前年から41人増加して464人となり、近年400～500人台で高止まりの状態にあるようです。

ところで今年には昨年に比べ、九州支店の熱中症の発生件数は梅雨明け以降、大幅に増加しました。各地で猛暑が続く中、大半が繁忙状態の福岡地区と熊本地区で集中して発生しています。明らかに経験不足や熱中症に対する認識の甘さに加え、不摂生が原因と思われる状況も認められます。水分・塩分の摂取の為の設備や休憩所の冷房などは、各現場で充実してきているようです。基本に立ち返り、巡視や声掛けを頻繁に実施し、『送出し教育』や『受入教育』、『熱中症に対する教育』『熱中症対策』等を適切に

実施することで、こういった熱中症の発生を未然に防ぐ努力を続けていかなければなりません。

労働者の健康管理や職場環境の改善などを行う場合、関係者全員が、「自分の身は自分で守る」という意識を持って、「自ら考え、判断し、行動する」つまり決して人任せにしないことが大切ではないでしょうか。そして「当たり前のことを当たり前にやる」ことを習慣化させましょう。まず、管理者が模範的行動を示しましょう。その上で、十分なコミュニケーションを図ることです。お互いに積極的に声掛けをすることが、職場仲間の心と体の健康チェックとなって、様々な不幸な問題を未然に解決するのに役立つのではないのでしょうか。

この全国労働衛生週間を契機に、経営トップをはじめ関係者は労働者の健康保持・増進の重要性についてさらに認識を深め、心身ともに健康で、誰もが安心して働ける快適な職場づくりを目指し、効果的な労働衛生管理活動を実施して下さい。



着任のご挨拶



清水建設(株) 九州支店
副支店長

田原 浩章

7月1日付で小林副支店長の後任として事務担当副支店長を拝命いたしました田原と申します。

九州兼喜会の皆様には日頃より当社のさまざまな活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は昭和60年に清水建設に入社いたしました。入社時は建築本部千葉営業所（現千葉支店）の現場の事務として配属、約7年間現場事務を担当しました。その後千葉支店庶務グループ勤務の後、東京支店、人事部、名古屋支店、建築事業本部で人事業務に携わった後、この度縁ありまして九州支店勤務となりました。

人事の業務を通じて多くの人々と向き合う機会を得られました。将来の希望に胸ふくらませた新入社員から、会社を退職される方まで多くの人達の話しを伺いました。退職される方の中には会社人生を全うして、やり切った満足感を湛え退職していく人がいらっしゃる一方で、活躍の場を社外に求めて若くして退職していく人もいらっしゃいました。

多くの方々の話しから感じられたのは、建設業はそのスケール大きさ、社会への貢献度、多くの関係者が力を合せてモノを作り上げている

プロセス等間違いなくやりがいのある業種です。一方で3Kのイメージに代表される厳しい労働環境に置かれていることも事実です。少ない休日、夏暑く、冬寒い職場環境、自然環境に左右される工程管理等々、旧態依然とした環境に取り残されていると言っても過言ではないと思います。

今後少子化が進み、労働人口が減少する中で、厳しい労働環境に耐えられる人だけが働き続けることが出来る業界のままでは建設業に明るい未来はないと思います。

兼喜会の皆様と当社が一丸となり職場環境の改善、休日取得・閉所の推進等、現場で働く全ての人々が快適に働ける環境を作ることで、より多くの若者に建設業に魅力を感じてもらい入職者の裾野が広がることを実現したいと思います。私も微力ながらその一助となって働きたいと思っておりますので、前任者同様皆様方のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、九州兼喜会のますますのご発展と会員各社様のご盛隆、皆様方のご健勝を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



平成28年度

安全衛生推進大会

共催／・清水建設(株)九州支店 建築部・土木部・空港建設所、・(株)シミズ・ビルライフケアS・BLC九州社
 ・清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会 福岡支部・土木支部
 ・シミズ・ビルライフケアS・BLC九州社 取引業者災害防止協議会

と き	平成28年6月20日(月) 13:30~15:00
ところ	福岡フコク生命ビル 清水建設 5階会議室
出席者	235名

〈司 会〉

取引業者災害防止協議会福岡支部 山元 健蔵

1. 開会の辞

清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会
土木支部長 西村 誠

2. 挨拶

清水建設(株)九州支店
常務執行役員支店長 梅津 誠二
清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会
会長 篠森 義晴

3. 表彰

清水建設(株) 社長表彰
清水建設(株)九州支店 支店長表彰
清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会
会長表彰

4. 来賓祝辞

清水建設(株) 安全環境本部 安全部
部長 神田 道宏 殿

5. 安全基本方針の説明

清水建設(株)九州支店
安全環境部 部長 森本 進吾

6. 安全宣言

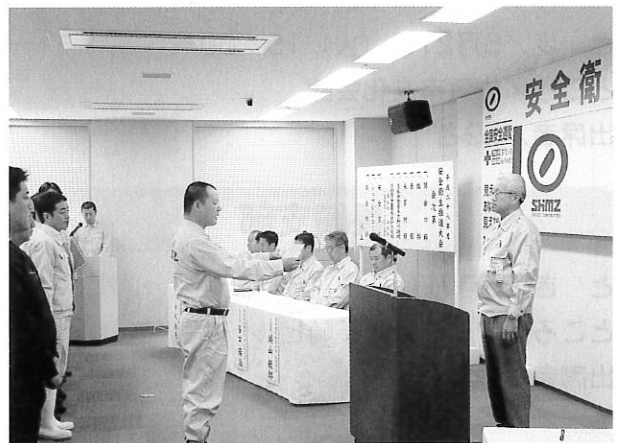
清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会
福岡支部長 日高 輝幸

7. シュプレヒコール

清水建設(株)九州支店 土木部
工事長 田中 洋平

8. 閉会の辞

シミズ・ビルライフケアS・BLC九州社
取引業者災害防止協議会
会長 山田 宏次郎
以上



安全スローガン

厚生労働省統一スローガン

『みえますか？あなたのまわりの見えない危険
みんなでみつける 安全管理』

清水建設・清水建設九州支店スローガン(共通)

『見逃す心に危険が潜む
みんなで守る手順とルール』

安全宣言

本年度は『見えますか？あなたのまわりの見えない危険みんなで見つける安全管理』のスローガンのもと我々取引業者は、三現主義にて危険な状況を事前に把握し適切な判断、対策を施し先取りの安全活動を行っていきます。

この安全衛生推進大会を機に、「災害ゼロ」の

快適な職場環境づくりを改めて目指す事をここに宣言します。

平成28年6月20日

清水建設九州支店
取引業者災害防止協議会
福岡支部長 日高 輝幸

平成28年度 安全衛生推進大会

福岡・土木支部

と き／6月20日（月）13：30～
ところ／福岡フコク生命ビル 清水建設 5階会議室
出席者／235名

佐賀支部

と き／6月21日（火）15：00～
ところ／佐賀市文化会館
出席者／89名

長崎支部

と き／6月7日（火）16：00～
ところ／フコク生命長崎ビル 8階
出席者／74名

熊本支部

と き／6月10日（金）15：00～
ところ／ホテルメルパルク熊本
出席者／111名

北九州支部

と き／6月22日（水）16：00～
ところ／北九州営業所
出席者／29名

鹿児島支部

と き／6月15日（水）15：30～
ところ／サンロイヤルホテル
出席者／100名

大分支部

と き／6月13日（月）15：00～
ところ／大分県総合社会福祉会館
出席者／76名

宮崎支部

と き／6月24日（金）15：00～
ところ／宮崎八幡宮
出席者／77名

沖縄支部

と き／7月1日（金）15：00～
ところ／沖縄自治会館
出席者／135名

清水建設全国連合兼喜会 第57回定時総会

四国大会

日 時	平成28年5月13日(金)
場 所	松山全日空ホテル
出席者	全国各支部256名 九州より篠森会長他16名

— 総 会 次 第 —

司会 (四国) 濱崎 貴司

1. 2015年度物故会員の報告と黙祷

1. 開会の辞 四国兼喜会副会長 中野 洋一

1. 会長挨拶 全国連合兼喜会会長 中橋 博治

1. 議長選出 四国兼喜会会長 武田 美治

1. 議 案

(1) 2015年度事業報告 副会長 石井 映雄

(2) 2015年度決算報告 会計理事 青木 茂

(3) 2015年度会計の認証 会計監事 田畑 博章

(4) 2016年度事業計画案 副会長 並松 正勝

(5) 2016年度予算案 副会長 北浦 栄三

(6) 次期総会開催支部の決定 会長 中橋 博治

(7) 各支部代表提案

1. 来賓紹介

1. 歓迎の辞

清水建設(株)執行役員四国支店長

森井 満男 様

1. 来賓祝辞

清水建設(株)代表取締役社長

井上 和幸 様

1. 清水建設(株)より助成金の贈呈

清水建設(株)代表取締役社長

井上 和幸 様

1. 大会宣言

四国兼喜会会長

武田 美治

1. 次期総会開催支部への会旗伝達

全国連合兼喜会会長

中橋 博治

1. 次期総会開催支部の挨拶

広島兼喜会会長

齋藤 秀峰

1. 閉会の辞

四国兼喜会副会長

北岡 守男

以 上

大会宣言

4年後の2020年、56年ぶりに世界中の人が日本に集い、アスリート達が競い合う、東京オリンピックが開催されます。それに伴う建設ラッシュは、我々建設産業には確かな追い風となりますが、急速な建設需要の高まりによって作業員不足、社会保険未加入問題など多くの課題が浮き彫りになってきたのも事実です。オリンピック後の不透明感、地方都市のさらなる人口減少は確実に押し寄せて参りますし、何より需要の高まりに反比例して、若者の建設離れが加速しております。

日本の将来を背負う若者に建設業へ目を向けてもらう為に我々が今すべき事、それは誠意・熱意が感じ取れる「ものづくり」を継続していく事ではないでしょうか。清水建設の提唱する「子供たちに誇れる仕事を」継承し、未来の子供達に胸を張れる、嘘・偽りのない真っ直ぐな建物を造りつづける事こそ建設業界の未来を照らすカンテラです。そしてまさしくその灯こそが清水建設であります。

清水建設との長きに渡るパートナーシップによって先人達によって永々と築かれた兼喜会の結束力・忠誠心は、何としてもこれからの若い世代へと受け継いでいかなければなりません。清水建設という建設業界の頂点が求める「ものづくり」を安全・品質の両面から可能にするのは、我々の熱き思いしかありません。

井上新社長が就任され、新たな歴史が始まる清水建設と共に、我々兼喜会もこの地、四国をスタートラインとし、新たな一歩を踏み出そうではありませんか。

我々は、清水建設兼喜会として、社会に対する責任と誇りを胸に、若者には魅力的な、高齢者には安心感のある建物を造り続け、誠心誠意、愛のある企業として清水建設の最高のパートナーであり続ける為の精進を強く誓う事をここに宣言いたします。

平成28年5月13日

清水建設全国連合兼喜会
第57回定時総会(四国大会)



兼喜会議事録

○理事会

と き	4月6日(水) 12:00～
ところ	兼喜会事務所
出席者	篠森会長他9名 調達部 谷口部長

【議 題】

1. 第1回全国連合兼喜会支部長会議の件
2. 全国連合兼喜会定時総会（四国大会）の件
3. 安全大会の件
4. 青年部
5. その他

○理事会

と き	5月11日(水) 11:00～
ところ	兼喜会事務所
出席者	篠森会長他9名 調達部 谷口部長

【議 題】

1. 熊本地震の件
2. 全国連合兼喜会定時総会（四国大会）の件
3. 安全大会の件
4. 青年部
5. 9月役員会の件
6. その他

○理事会

と き	7月7日(木) 12:00～
ところ	兼喜会事務所
出席者	篠森会長他7名 調達部 谷口部長

【議 題】

1. 安全大会報告の件
2. 全九州役員会の件
3. 青年部
4. その他

○臨時理事会

と き	5月30日(月) 11:00～
ところ	兼喜会事務所
出席者	篠森会長他11名 調達・見積総合センター 有馬副所長 九州支店高橋経理部長 谷口調達部長、鈴木調達課長

【議 題】

1. 熊本地震義援金の件

○青年部支部長会議

日 時：平成28年7月22日(金)
場 所：兼喜会事務所

○第5回 西日本地区兼喜会青年部交流会

日 時：平成28年8月26日(金)
場 所：神戸
交流会見学会：阪神淡路大震災、
人と防災未来センター

○青年部幹事会

日 時：平成28年4月11日(月)
平成28年4月25日(月)
平成28年5月23日(月)
平成28年7月1日(金)
場 所：兼喜会事務所

諸 行 事

○清友会懇親会

日 時：6月23日(木) 17:00～
場 所：セントラルホテルフクオカ

発行所 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
清水建設九州支店内 九州兼喜会

印刷所 川本印刷株式会社
TEL 092-591-5110